

自然環境調査報告書第 9 集にあたって

堀井 達夫

(トトロのふるさと基金 調査部会)

キーワード：植生；水生動物；鳥類；有害物質；湧水

2011 年度は、トトロのふるさと財団が公益法人に移行し、公益財団法人トトロのふるさと基金として新たな一步を踏み出す年となった。と同時に、2011 年 3 月 11 日の東日本大震災と続いて起こった東京電力福島第一原子力発電所の事故により、当たり前とっていた日常があっけなく失われることを思い知らされた年でもあった。

しかし、トトロのふるさと基金では、2011 年度も引き続き新たなトラスト地を取得することができ、2012 年 2 月末現在でトラスト地の合計は 15 ヶ所となった。この第 9 集では、川越がトトロの森 12 号地から 14 号地までの植生調査結果をまとめ、今後の管理方針の提言を行う。今年度は、土壌硬度、斜度、pH を測定した。調査結果を蓄積していくことで、よりその土地の条件にあった管理方針が提案できるものとする。

北野の谷戸の自然環境調査では、復田 2 年目の田んぼと六ツ家川で行った水生動物調査を堀井と柏木がまとめた。また、すでに田んぼでは収穫が行われているため、谷戸近辺の廃棄物埋立地からの浸出水による水質環境への影響を把握する必要があるとあり、水田へ引き込まれる湧水の有害物質調査も行った。この調査は今後も可能な限り継続し、安全性を確認したいと考えている。北浦が報告する。

報文としては、対馬良一氏から「早稲田大学所沢校地湿地における鳥類標識調査」を、榎本勝年氏から「いきものふれあいの里センターの鳥類調査 - 業務日誌に記録されたセンターエリアの野鳥 -」を、所沢源流の会 小黒譲司氏から「狭山丘陵の湧水 - 丘陵地の湧水の 1 つのタイプについて -」を提供いただいて掲載した。更に、砂川流域ネットワークの堀井達夫が提供した「砂川上流域の樹木調査」も掲載している。

謝辞

北野の谷戸の有害物質調査は、公益財団法人サイサン環境保全基金の助成により実施することが出来ました。調査にあたっては、早稲田大学自然環境調査室の大堀聡氏に多大なるご配慮を頂きました。また、トラスト地の植生調査では、北中ネイチャークラブのメンバーの皆様がご協力くださいました。

ここに、深く感謝申し上げます。